

K.F.M.中日友好時裝表演
来自神戸的信息



主辦單位
錦江飯店
上海第一絲綢印染廠
神戶流行服裝設計師協會

息



◆上海
◆杭州

座談会

中日友好

K.F.M. ファッションショーを語る



主辦單位
錦江飯店
上海第一絲綢印染廠
神戶流行服裝設計師協會



中日友好時裝表演
来自神戸的信息



上海市副市長（真中）を表敬訪問



杭州市長（左端）を表敬訪問

■ 出席者

木下 章夫氏 <榊木下真珠代表取締役>

岡田 美代さん <演出家>

松谷 由夏さん <榊大月真珠>

朱 海倫さん <通訳>

藤本 ハルミさん <K.F.M. 会長・
クチュールマーガレット>

大西 節子さん <大丸神戸店ジバンシーサロン>

丹野 最世子さん <ブティック魔女>

前川 富紀子さん <ニッターズスペース MAE-KAWA>

司会／小泉 美喜子 <月刊神戸っ子編集長>

神戸ファッションモデルリスト（K・F・M）が10周年を迎え、留学生朱海倫さんと演出の岡田美代さんのプロデュースによって、3月15～23日まで友好訪中団を結成し、上海・杭州・蘇州へ旅立った。初の国際交流のショーは、上海が、3月17、18日の二回、錦江飯店の小礼堂で500名の観客（主催／上海錦江飯店、上海第一絲綢印染廠）、3月20日は、杭州の黄龍飯店水晶宴会廳では600名（主催／杭州市人民対外友好協会、杭州喜得宝絲綢公司）の人々を招待し、大盛況のうちにショーを終えた。

ショーには、藤本ハルミ会長、大西節子、丹野最世子、前川富紀子さんが参加、市野木悦子、長井弘子さんは作品のみ参加。作品76点という豪華なオートクチュールの力作を上海、杭州のモデル達が鮮やかに着こなした。訪中団は約30名。感動的だった友好の旅からの話がはずんだ。

■新しい息吹きの中、友好ショー——きょうは参加された皆様にお集まりいただき、友好のよう、苦勞話などをお話願って今後の在り方などを考えてみたいと思います。まずきっかけについて岡田さんからどうぞ……。

岡田 私は、K・F・Mが発足して10年になるので何かイベントをと考えていました。たまたま私が



丹野 最世子さん



岡田 美代さん



藤本 ハルミさん



木下 章夫氏

朱実先生から預かっている留学生の朱海倫さんが、K・F・Mのファッションショーを見て、ぜひ故郷の上海の人達にも見せたいと申しましたのを、この機会に実現するのが何よりの記念になると思います、企画をすすめた次第です。

私はK・F・Mのショーを見て大変感動しました。例えば藤本先生の和服の帯で作った洋服など、いい発想だなあと、また、大西・丹野・前川・市野木・長井先生方も、一人々々個性的でさまざまな素材、とりどりの色の素敵な組み合わせや贅沢な真珠の装飾の扱い方などに感心して、

これは中国のデザイナーや服装業界に見せてあげたら、参考になるのではないかと思います。中国では織錦緞という生地は、チャイナドレスと綿入れの上着くらいしか作っていません。上海は中国一文化的でファッション都市ですから、日本一のファッション都市神戸のイメージとK・F・Mの素敵な作品を中国の人達に紹介したいと思いました。

藤本 初めはびっくりして本当にできるのかなあと半信半疑でした。しかし、神戸の服飾はいままでヨーロッパ志向でしたが、世界情勢からみても、アジアに貢献しなければならぬ時期になってます。フタを開けるとみんなが賛同

してくれるし、湾岸戦争も出発前に終結するなど、神の助けというが大変恵まれていたと思います。

丹野 いままでヨーロッパばかり見ていましたが、今回の旅で私は中国に恋をしてしまいました。

大西 私は中国は三度目です。最初は8年前北京へ、次は天津で5000人もの集会を開きました。言葉は通じなくてもファッションは国境を越えられると感じていました。今回、本業のバリ行きが湾岸戦争でとりやめになりましたが、幸運にも戦争が終わり、訪中団に参加することができました。

松谷 中国は初めてで、5000万円以上もの真珠を持って同行させていただきました。K・F・Mの先生方の作品は個性的なのにチームワークは抜群で、素晴らしいグループだと改めて感心しました。

前川 入会してまだ3年ほどですが、参加させていただいてラッキーでした。私の作品はマシンニットで作るので、中国では編機は高価で買えないと聞いて、もっと日常的なものの方がよかったのではないかと反省しています。

—— 木下社長には大変お世話になりました。

木下 10年ほど前、博覧会の買い付けに行ったのですが、人民服でみな黒いコート、商談も時間がか



朱 海倫さん



松谷 由夏さん



前川 富紀子さん



大西 節子さん

かり難かしいとの印象でした。今回はモデルもショーの関係者も積極的に新しい息吹きを感じました。何といっても一番近い民族です。仲良くなる橋渡しができたと思います。

■悠久の国と握手

—— 苦労はありましたが大成功だったと思います。とくに印象に残ったことは……

藤本 神戸にいて通常のアパレルでなく高度な一点物作りの姿勢を保っているのですが、私の4枚の風呂敷で作ったスカートをみて海倫がこの夏上海ではやりますよと言うの(笑)。十数年前、パリやアメリカのファッションショーに飛んでいってひとつでもいいものを取り入れたと思って自分の姿を思い出しましたね。また中国という国の大きさを感じたのが一番の収穫でした。

木下 懐が深いというか、歴史の厚み、悠久の時の流れがあります。日本では目先の事に追われて本質を忘れがちですが、中国は自然や環境が素晴らしく独自性の素地があるから感性のあるいいものが出てくると思うね。

岡田 全く悠久性を感じましたね。開幕時間が近づいても手伝うはずの人が来ない。こちらはイライラしているのに、「いいですよ、うんと遅れても大丈夫です」と言

う(笑)。そして時間になるとさっと来て出来上がってしまうのが不思議。時間の流れと人間の考え方が違うんだなあと感じました。

藤本 しかし日本人は真面目でよく働くと言われましたね。

大西 あのショーのスライドは神戸の情景を写し出してとても綺麗でしたね。

岡田 小泉さんのところに何百枚もある中から選び出して編集したものです。

—— 中国側の全般的な反応はいかがでしたか。

藤本 言葉はわからないのですが、握手の手の握り方や嬉しそうな表情から喜んでくれていると思えましたね。

朱 上海の人たちは杭州まで追っかけて見ていましたね(笑)。

前川 上海と杭州と競争意識があるのね(笑)。

木下 いまの中国のことを群雄割拠の時代と書いてありましたが、各州で違う国のようになっているんですね。

丹野 錦江飯店の陳さんが杭州まで追っかけてきて、モデルはどっちが良いかって聞きますよ(笑)。上海は国際的で、杭州はおしとやかで、どちらも素敵でしたね。

木下 あんなに綺麗な人がいるなんてびっくりしましたよ(笑)。交流会で話したら、普通の育ちの良

いお嬢さんといった感じ。でも第一線ではすでにプロのトレーニン

のご協力もいただいて感謝しています。

岡田 招待状も華僑総会会長さんのアドバイスで上海・杭州・神戸の市花を金箔押しにした立派なもの

の市花を金箔押しにした立派なもの

ができて中国の人に喜ばれました。

海倫も大変だったね。

朱 でもとっても勉強になりました。

岡田 おかあさんが作った台本

・進行表及びプログラムを翻訳しながら、色々教えていただきました。

K・F・Mの先生方もいい作品を作っていたので、中国側も

全面協力してくれたので、お蔭で素晴らしいショーでした。

お客様も非常に喜んで、熱心に見て下さって、拍手してくれました。

木下 向うはめつたに拍手しない国だってね。

朱 そうです。型紙欲しいって中国のデザイナーが言っていました。

よ。上手に作れないけど真似できる。真似して作りたいから写真が欲しいと錦江ホテルに問い合わせ

が沢山あったそうです。

藤本 以前カルダンが来たけど、それに比べるとK・F・Mのはみな着れそうでもとよいとインタビューでも言っていました。

丹野 杭州までバスで4時間揺られ、歓迎パーティー、表敬訪問、そしてリハーサルと強行軍。

木下 会社でもあんなに働かないのに……(笑)。

大西 木下社長は最後まで付き合

って下さって本当に助かりました。やはり男の貫録で、私たちは安心してできましたね。

大西 バスで杭州へ着いたとき、爆竹が鳴り花束贈呈、熱烈歓迎の看板など最高の招待でしたね。

■心を通わせ、飛躍へ

——最後にこれからこうあってほしいとひとことを。

岡田 K・F・Mとしてまたこんな国際的な機会が欲しい。それに、反省としていままで神戸の外国人達を観客に入れることができなかったが、自分たちの足もとの色いろな人に見てもらうことも考えたいと思います。

朱 ファッションショーだけでなく色々な面の交流があれば、例えば交換講師とか、モデルクラブに教える行くとかコミュニケーションを強めて欲しいです。

丹野 私はショーの前にちよつと上海へ行ってみたのです。これがよかった。事前に中国をみて自分

のりの答を出し、今回中国から答をもらおうという力強い仕事ができ

ました。このような積み重ねで自分もK・F・Mも伸びていくという

実感があります。

大西 中国は縫う技術があります

が、色とデザインの勉強が必要ですね。つたない技術ですがまた教

えに行ければいいと思います。

いお嬢さんといった感じ。でも第一線ではすでにプロのトレーニン

グが始まっていると感じたね。

岡田 一番喜んでいたのは木下社長ですね(笑)。事前に下見をした

とき、ヨーロッパ風のリズムとテンポだったのですが、日本の娘

さんが歩くようにしてちよくだいて言ったんです。『楚々たる歩き

方は中国が先輩ですよ』(笑)。

大西 教えるのは身ぶり手ぶりで両方とも必死でしたね。

■努力と協力で素晴らしいショー

——今回は一緒にいい仕事できた点で日中友好の意味がありましたね。

岡田 中国側が舞台装置・照明をはじめスタイリストやヘアーなど裏方一切を担当してくれました。

言葉が通じなくても、文字通り日中一体となってショーを完成した喜びを分かち合えました。

松谷 モデルさんは洋服もそうですが、真珠をつけるととても喜んでくれました。私たちでもつけない豪華なものでしたが(笑)。

藤本 上海の市長夫人はほとんど公式の場に出ないのに来てくださ

ったり、前市長夫妻がみえたり。

——今回周りの方々からのご協力も沢山いただきましたが。

藤本 知事さんも好意的で、ほかに

柏井さん、ワールドさん、ダイ

エーさんや、真珠業界からも沢山

のご協力もいただいて感謝して

全ての行程を無事終えて、上海の方達と共に交友会が持たれた。
言葉は分からなくとも、気持ちは通じ合い、笑声はいつまでも……。



中日友好ファッションショーツアーの参加者全員と、中国のモデル達。デザイナーの力作76点を、モデルはとても喜び素敵に着こなしてくれた。盛大な拍手を浴びて、皆ホッと笑顔。



松谷 一度だけでなく次はもっと中国を研究してやりたい。パールだけでなく色んな面でお手伝いできるになりたいです。

前川 準備期間も短かったが、自分の作品だけでなく、K・F・Mの意義をもっと深く理解して行けばよかったと反省しています。藤本 湾岸戦争で日本は90億ドル

だけの貢献と言われていますが、中国での共同作業を通して「あ

っ、これだ」と思いました。相手の心に触れて愛情や関心も強くな

ります。コンテストの優秀作品の学生が、服作るのが好きでた

まらない顔してるの。こんな子を神戸へ連れてきて身近で応援できるよ

うにして欲しいですね。

木下 美は万国共通です。心の美にファッションが結び付いてい

けば素晴らしいと思います。やはり真珠は陳列ケースで見ると命が

入りますね。だから皆さん、ダンスの中で眠らせないで下さい(笑)。

神戸のファッションを上海、杭州へ紹介することができ、

いろんな意味でK・F・Mを外から見直すチャンスになったと思

います。これを契機にまた新しいK・F・Mが生まれることを期待

します。

企業が率先して神戸の文化を育ててほしい

座談会出席者△敬称略・順不同▽

山縣 熙△神戸大学教授▽

石阪 春生△洋画家▽

藤本ハルミ△ファッションデザイナー▽

中村 一夫△株式会社イズム
総合プロデューサー▽

★神戸ファッションは、その軽さ故に成功した

—— 今座談会では、「神戸の文化的創造力の開発を考える」といったテーマでお話を進めていただきたいと思います。神戸っ子は、十五年くらい前にファッション都市論をやりましたが、創刊三十周年を機にファッション都市論をまとめようと思っています。このような座談会を二年くらい続けてみようと考えています。山縣さん、ファッション都市についていかがでしょうか。

山縣 十七、八年前、神戸に来て間もなくの頃、市長さんも出席された座談会で神戸の印象を尋ねられました。その時、神戸は「白い街」という印象であると答えたことを思い出します。地中海に面した南仏のニースのような感じですよ。白というのは、さまざまな色づけを可能にしますが、十数年住んでみて、一層そういう面白いくところのある街だと思っています。

ビジュアルアートに関しては、視覚的な表現と言語的な表現の関係が問題になると思います。テレビ番組の例

えば「火曜サスペンス劇場」などのドラマで、副音声というのがあります。目の見えない人に状況を説明するためのものですが、「二郎、肩を落として寂しそうに去る」などとやる訳です。すると、副音声なしに見ていると何でもない場面がはつきりした形で見えてくるんです。ということとは、言葉というものはそれ自身が枠組みを作ってしまうということです。映像はそれをはつきりさせないから、創造的なものにもなるし、また、しかし逆に創造的でない場合もある。ビジュアルなものは、クリエイティブになり得るし、言いかえれば本来枠組みをはずす文化ともいえる。

藤本 もう二十年くらいになりますが、ファッション都市宣言が出て、私たち服を作るものは、陽の当たる場所に出たという思いがしました。それまでも、神戸はおしゃれな街だとか、東京から服を買いにくる人がいるとかで自信を持っており、その評判を落とさないよう努力していました。ファッション都市宣言で頑張らなきゃいけないと強く感じました。それは私だけではないと思います。それから「神戸ファッション——」という団体がいくつもでき、ファッション市民大学ができたのです。そして、ファッションをトータルにまとめた神戸ファッションフェアをやりました。企業も商店街もデザイナーなどが集まって文化ホールでファッションショーを開いたのです。商工会議所の砂野会頭がメッセの概念を導入



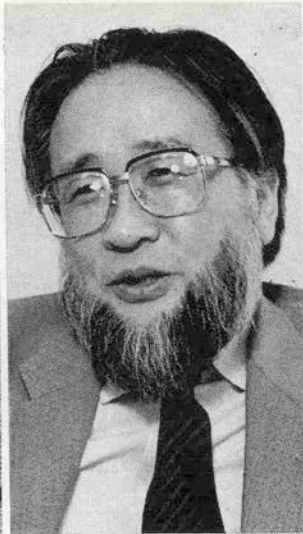
中村 一夫 さん



藤本ハルミ さん



石阪 春生 さん



山縣 照 さん

されたり、宮崎市長が市民大学に三百万円の予算をつけたり、ずっとバックアップしてくださり、フアッションショーもすごい活気でした。そのあと、ポートピア⁸¹、フアッションタウンづくりなどが続いてフアッション都市の枠組みができたんじゃないでしょうか。

中村 私は、フアッション市民大学ができた頃、神戸に來たんです。すぐ会社から大学に出してもらいました。すぐ役立つものではないんですが、企業も次第にオープンになり、横のつながりもできて、あらゆる意味で非常に有益だったと思います。

石阪 フアッション都市宣言は、神戸にとってずいぶんプラスだったと思いますね。いかにも神戸らしく、神戸以外の人に神戸を概念づけたんじゃないでしょうか。それまではただ異人がいて、貿易が盛んで、船があつてという程度の評価でしたが…。

中村 私はそれ以前、アパレルの営業や企画などいろんなことをやっていたんですが、フアッション都市宣言を他都市に先がけてやっていたら、ずいぶん援護射撃になりました。大阪発のアパレルだと玄関払いになるところを、神戸発だと一度話を聞いてやろうかと、それくらいの違いはいまだにありますよね。あれから札幌、名古屋、京都などもフアッションに力を入れ始めました

が、神戸の早さというのはすごかったですね。

藤本 あとから名乗りをあげたところは、みんな神戸がやったからやり出したのだと思います。

山縣 ネーミングの良さもあります。失礼な言い方ですが、京都や岐阜など成功しているかどうか疑問ですね。以前、朝日新聞に「ネーミングについて」の文章を書いたことがあるんですが、例えばトマト銀行が全国的に有名になったのは、銀行という堅い概念と柔かいトマトが一緒になった微妙なずれのせいなんです。それがいまの人にうけた。それでいくとフアッション都市神戸というのが逆にビタリくる訳ですよ。

—— 軽やかな方が難しいのではないのでしょうか。

石阪 日本の絵をみて、一九六〇年代に米国でポップアートが現われて、その軽やかさが日本に影響を与えたと思います。

山縣 話題になった俵万智の「サラダ記念日」や村上春樹の「ノルウェイの森」などがあり、これらは軽さを装って、実は重いものがあるんです。昔の文学とは逆ですね。昔の人は失恋して「つらい」と言うが、いまの人はそういうのを「ダサイ」と受け止める。軽いだけでは困るんですが、少なくとも表面的には軽いというのが、ファッション都市神戸と重なってくるんですね。白い街というのも軽さを装った街というふうに。

中村 神戸に来て十八年、イズムの創業に参画して十年になりますが、イズムとしてアピールしているのは、やはり神戸発のアパレルということですね。よそさんは全国版と言いますが、イズムはかたくなに神戸ブランドを言い続けています。神戸は地中海的な雰囲気強く、山と海が接近していて景観としては最高ですね。コートダジュールのような背景があるからこそ、非常に鮮やかな色の服が似合うんですね。それを利用してイズムの服はヴィヴィッドなものが中心になっています。

藤本 ワールドの畑崎社長も当初、神戸の甘さ、上品さ、明るさを言ってらっしゃいました。

——地中海で着ていた服をパリに着て行くと、全然街にそぐわないというようなことがありますね。

中村 建物や紫外線の量が違うんじゃないですか。

藤本 オーダーの仕事をしているので、よく問屋さんに生地を買いに行くのですが、ショッキングピンクやターコイズブルーの生地があったら、ほとんど神戸のデザイナーは買うそうです。白い街でそういう色が映えるということですね。以前から言っているんですが、関西のファッションは白い御影石の土壌の上で育ってきたのに対し、関東は火山灰の黒い土の上で育ってきたという気がしますね。

石阪 私たちがどこかの街をイメージするとき、憧れ

たいなものがありますが、神戸に対しても外からの憧れがあって、それがプラスになって神戸のファッション産業が確立されてきたのだと思います。こういう現象は日本の中でも神戸だけではないでしょうか。

藤本 東京の人が私の着物地や帯地によるファッションショーを見たとき、洋服地のドレスよりモダンだと言ったんです。私は船乗りの娘で、子供の頃からピアノを弾いたり、食べ物と食より洋食といういわばバタ臭い中で育ってきたんですが、ある時、外人が日本文化に初めて接したように、歌舞伎や能にフレッシユな印象を持ちのめりこみました。そして初めて外国へ行った時、この人たちの民族衣裳を真似しては駄目だなと感じたのがきっかけです。生地の絶対量が少ないとか重いとかいろいろ制約があるのですが、ほめていただきたびに日本独特のものは大事にしていかなければいけないと思いました。最近では東京やハワイでも着物地のドレスがブームになってきているようですが、神戸だったから仕事として成り立ってきたし、神戸の女性だからこそ着る勇氣を持っていたんですね。消費者のレベルが高いということです。

——いま、大丸が旧居留地にインポートファッションコーナーなどをつくって成功していますが、これも神戸に対する憧れづくりなのではないでしょうか。

山縣 その場合、日本の近代洋風建築に対する憧れということもありますね。その中にインポートされた物に対する憧れがあって二重になっているんです。時間的には日本の古い時代、空間的にはよそから来たもの、その融合が成功の原因ですね。

石阪 建物も元のまま使うのではなく、それを逆手にとつてやっているところがあります。中に入った時まず驚きがある。それで商売が成り立っているように思います。

山縣 意外性ですね。

藤本 旧居留地に海外で作られたインポート物をそのまま持ってきて、日本人にはピッタリこないと思うんで

す。視覚的魅力は大変大きいですが、日本製の方が圧倒的に商売として成り立ちます。ところが、そういう物があるというところに神戸の魅力もあります。

中村 そういう街であるということは、イズムにとってもプラス面が大きいです。いまはショッピングセンターの時代と言われています。商店街がひとつの建物に集約されたワンパターンになっていきます。しかし、旧居留地の場合はその逆提案で、それは古くて新しいスタイル、それが憧れなんでしょうね。旧居留地は神戸だからあるんだとアピールしていますから、大丸は神戸全体として新しいところを見つけたなと思います。

石阪 ファッション企業は、神戸の恩恵で稼いだんだから、旧居留地の古い建物をどんどん買っていくくらいのことではないといけない。そうしないと古いものが無くなって結局自分の首を絞めることになると思うし、憧れづくりはできない。

★神戸のメデイテイ家が現われてほしい

石阪 大丸があれだけ頑張っているんだから、ファッション業界もあのあたりのビルを買っていく、そうすることが産業界の一大イベントになるんじゃないか。そういう時代が来ているわけですから、覚悟をしなければいけません。ああいうものを失うと、ファッション産業にとっては大きなマイナスですから、もっと執念を持って頂かないと。

山縣 もう単なる経済効率だけではない時代ですから。

藤本 私は、商売はあまり上手じゃなくて、物を作るということに情熱を傾けています。そういうデザイナーはお金を持っていないんですね。ファッションショーでも貯金をはたいてやっているようなところがあつて。それに比べると企業は相当稼いでいらつしやるでしょうからそれを還元してほしいですね。ワールドが以前、二十数億円を寄付されたような気持ちで、他もやって頂いたら、神戸はもっと栄えると思います。

石阪 文化に対してもっと金を払わないといけません。

私たちが言わなくても企業がやらなきゃいけないんです。

山縣 ファッション都市の将来の夢としては、ファッション都市を単にファッションで終わらせないようにしないといけません。

石阪 ファッション産業が栄えてきたら、中味をアートで包む、すなわちファッションで精神文化を包むということが必要ですね。

藤本 メデイテイ家がフィレンツェで芸術家を集めて、彼らを育ててルネッサンスの時代を創り上げたように、神戸でもやって頂きたいですね。

中村 いまムードとして企業の文化支援というものがあるのは事実ですね。美術品や後世に残すべきものにもっと投資していかねばなりません。

石阪 絵や彫刻を集めるという発想は結局、既成の文化資産を外国から高い金を払って買っていることで、それだけでは新しいとは言えないと思います。その街の芸術家たちも育成するという考えがあつてこそ豊かな空間づくりができますね。

山縣 外国で、どうしてそういうものが生まれてきたかを考えずに、いいとこ取りをしている訳ですよ。生まれてくるプロセスを考え、作っていかないと。

石阪 加賀百万石が金沢に加賀友禪を残したのは、それを実践したからです。

藤本 神戸の特徴として、市、県の役人がよく頑張ったことがあげられると思います。行政がここまでやっている街はないですよ。ポートピア81やファッションタウンを成功させ、しかもきつちりペイしてすごいと外部から評価する声をよく聞きます。また、劇場などが文化を育てるということもあります。新神戸オリエンタル劇場のように小さくて、少々難のあるところでも、そこから神戸発のミュージカルが生まれたりしていますし。

山縣 神戸は映画発祥の地と言われているのですから、新開地を復活するなどしてしっかりした容れ物を作って

やればいい。いまはそれがいいから映画の仕事は東京でしかできないようになってしまっていますね。

藤本 神戸には三宮以外にもひとつ文化の中心的存在が欲しいですね。

石阪 そういう点では栄町はいいですよ。上手にやればきつとよみがえると思います。

山縣 神戸の軽さといった場合、何も考えずに突っ走るといふ一面があったと思うんですが、それと同時に守っていくという側面も考えないと本当の創造力は出てこず、永久に走り続けなきゃいけないことになると思います。

石阪 軽さだけでなく、憧れにも過去志向と未来志向があって、過去志向の中に次の未来志向があって芸術が生まれるんですよ。

中村 また、道楽心とか遊び心も必要ですね。私がひとつ欲しいと思うのはオペラ座ですね。全国的にも言われていますが、これは神戸にまずやって頂きたい。

山縣 私は古い映画を集めた博物館を作りたいですね。

映画発祥の地にふさわしく、神戸に行けば古い映画が見られるという状況を作らないといけません。

藤本 ポートピアのとき、グレッタ・ガルボの映画を集めて上映したら、九州から旗を立てて団体が来たそうです。それくらい見たい人はいるんですよ。

石阪 そういうレトロ志向は、北野町にも見られる訳で、そういうものをずーっと続けてほしいですね。建築家は古い建物は残せと言うが、企業はその理由がわからないから壊せと言う。そこで両者がいつも対立する。

藤本 ファレンツェ、ベニス、ウィーンなどでは、そういうもので生活しているんです。でも神戸にはそれほどものがないから軽く見られてしまうのじゃないかしら。でもああいうものをいま作るとすれば大変です。

—— 神戸に憧れて来る人は大変多い訳で、神戸の街づくりをいかに創造して提案すればよいでしょうか。

中村 京都から神戸へ来て、重苦しい所から明るい所へ

来たという印象が強く、ここに住むと自分もハイカラになれるのではないかと思いますよ。

山縣 京都から来た人は、京都市的なものをいかに神戸的に根づかせるかを考えてほしいですね。

—— 司馬さんは、神戸にはファッションの伝統があると言われましたが。

石阪 私はずっと神戸に住んでいて、展覧会は東京でやればいいと思っていたんですが、東京の人は、神戸のよいうな絵だと言います。自分ではもつとグローバルな絵だと思っているのに。神戸の土壌がなぜ私の中に生まれてくるのか考えさせられました。そこに神戸の風土の強さというものがありますね。

山縣 最近、嗅覚について考えています。人類の文明は視覚中心に発達してきたのですが、嗅覚を考えなおす必要に迫られていると思います。

石阪 私は香りという言葉が好きでよく使っていますが、説明できないものはその持っている香りだと思っています。

—— 小磯良平さんの絵も——

石阪 香りがありますね。そして絶対真似できません。

藤本 神戸には神戸の香りがありますよね。大阪の香りとは全く違うんですよ。

山縣 における美学とは全感覚的なものです。「におう」という言葉は万葉の時代からあって、「朝日ににおう」のにおうは「丹秀う」で唯一の感覚だけでは伝えきれないものです。

—— 企業の文化への貢献について

藤本 企業は現代の貴族なんだから、メデティイ家になったつもりで才能に投資してほしいですね。

中村 ファッション産業の前の煙突産業にもやっていただきたいですね。お金もあるし、スケールも大きい。

山縣 そうですよ。ここまで育ててきた神戸の文化をすたれさせてしまうのはもったいないですから。

(兵庫倶楽部にて)

田崎真珠株式会社

取締役社長 田崎 俊作
神戸市中央区港島中町 6-3-2
TEL (078) 302-3321

オールスタイル株式会社

取締役会長 川上 勉
神戸市中央区港島中町 6-5-1
TEL (078) 303-3311



観光特集



Have A Good Time
in
KOBE

北野界限

明治初年以來、外国人貿易商達によって次々と建てられた異人館。今なお当時の面影を残す北野町。一步足を踏み入れると、貿易で成功した彼らのハイカラな世界へタイムトリップする。

新神戸オリエンタルホテルの前から出発。東に向けてのゆるやかなスロープを上る。右手の斜面には約5千株のツツジと大きな桜の木。散歩道が最近整備され、この大きな花壇を上からぐるっと見下ろすことができる。

花の季節には神戸の街並

ガイドのおじさんが親切に説明してくれる（展望塔の家）



みを背景にすばらしい景色だ。散歩道の上り口には3月にオープンした神戸風月堂のゴーフルアルデア北野。南側には4月に開講したヒビヤフラワーアカデミースクール。旧ニュヨークシティナショナル銀行社宅で、神戸女学院などの数々の名建築を手がけたことで知られる米人建築家W・M・ヴォーリズが昭和6年に完成させた異人館だ。

散歩道を上ってみよう。左手には明治33年に布引貯水池を水源として近代的水道として給水を始めた北野浄水場がある。更に進むと布引公園へのロープウェイの乗り場。10月に完成の予定だ。布引公園はラベンダー、ローズマリー、タイムが咲き乱れ、屋外テラスではハーブティが楽しめるというステキな公園になりそうだ。

北野の一番東の坂、不動坂を上る。ここからは更に急な勾配になる。目指すは展望塔の家。北野で

最も高い所に位置する。まず坂を上りきるのが得策だ。展望塔の家は明治時代、海岸通りの旧居留地で商館として建っていたが、大正時代の初め貿易商の居宅としてこの地に移築。中に入ると食堂の重厚な家具、調度品に目を見張る。部屋中央のテーブルセットと正面の2つのキャビネットは16世紀から続いているフランスのブルボン家の食堂セットだとか。アツと驚く値段だ。隣りにワインセラーがあった。温度計が16度を指す。この館では現在もパーティーが時折り開かれるという。今なお生活の匂いのする館だ。（入館料600円）

細い坂道を下り、石畳の道を行くとしゃれたレストランがあったり、公園があったり、ホワイトハウスでは神戸ゆかりの写真家展があったり（中山岩太展5/28まで300円）する。異国情緒のなかにおしゃれでモダンな建物が点在する北野。新しい発見をしよう。

観光特集



東遊園地レストハウス

Have A Good Time
in
KOBE

神戸旧居留地

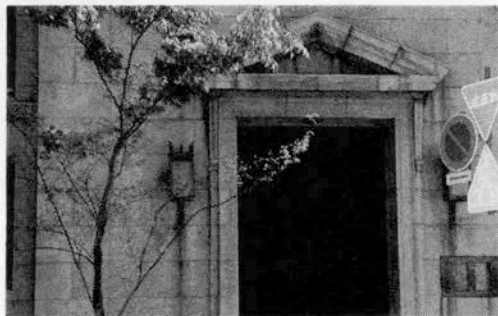
神戸外国人居留地。石造りの重厚なビルは歴史の重みを感じさせてくれるし、ガラス張りのショッピングストリートは時代の先端をいく。古いものと新しいものが融けあっている街だ。

神戸市役所の南側にある東遊園地は、かつては居留地に住む外国人達のレクリエーション広場だった。公園。中でも「光の彫刻塔」が目を引く。七月上旬には神戸外国人クラブの建物を模した「東遊園地レストハウス」がオープン。

遊園地を抜けて西側に向かって歩くと、現在修復中のノザワ（'92 12月に完成予定）、チャータードビル、神港ビルなど趣きのある建物に出会う。ノザワ本社ビルは現存する唯一の居留地時代の商館でコロンアルスタイルの建物に日本風の屋根、南側はベランダつき。

ノザワ本社から少し東へ戻り京町筋を北へ歩くと、クラシックな建築様式の神戸市立博物館に出会う。もともと銀行として昭和10年に建てられたもので、正面に6本のドリア式半円柱が並ぶ。国宝の桜ヶ丘銅鐸を所蔵し、南蛮、紅毛美術のコレクションがあり、中でも古地図コレクションは全国一の質と量を誇る。（5/25〜6/30 東西縄文土器展、長崎の異国趣味展、古地図の記号展、一般二百円）ショッピングなら、大丸南側のブロック30とジーニアスギャラリー。この近くの大興ビルは、ラルフローレンの直営店として4月14日にオープンした。ブロック30のプラダはバッグを中心とした品揃え。今年の流行は、ミモザイエロ

チャータードビル



ー、キウウィーグリーン。その昔ヨーロッパの貴族が船旅をする時、召使いに運ばせたという「船だんす」がおもしろい。黒革製でハンガーがかけられ、引き出しつき。ランチタイムは「ヴィンセント」で。Aランチ千二百円からでお手頃。イタリア料理はバスタだけではないことを証明してくれ。オーナーの花木さんのコレクションの藤田嗣治の絵、ガレのランプが素晴らしい。

お土産を買うならジーニアスギャラリー1Fの「インタレスト」。東西の作家の陶芸品を展示販売している。オレンジ、ブルー、イエローなどのベネチアングラスでできた香水ビンや、「テディベア」がおすすすめ。

観光特集



Have A Good Time
in
KOBE

灘 三 郷

灘の酒。飲んべえに嬉しいだけでなく、散歩道としても趣きのある酒蔵のただずまい。灘五郷の内、神戸市内の阪神大石駅から魚崎駅あたりに広がる西郷、御影郷、魚崎郷をウォッチング。

灘の酒の源は宮水。六甲山の花崗岩を潜ってくる地下水は、鉄分が除かれ石灰分がほど良く溶け込み、銘酒を作り出す。その宮水の起源は、阪神御影駅高架下にある沢の井。『神功皇后が凱旋ご参拝の際、お化粧に召された』事から御影の名が付けられ、後醍醐天皇の時、この泉の水で酒を醸し献上すると深くご嘉納あらせられた。以来、宮水から作られる灘の銘酒は全国に知られる事となった。

太古に思いを馳せながら、酒蔵の黒い板塀や赤レンガの続く道を歩くと、感慨もひとしお。酒造りの歴史を紐解いて、資料館めぐりをしてみよう。

阪神大石駅から7分の沢の鶴資料館(10時〜16時、水曜休、無料。882-6333)。江戸末期の酒蔵を利用して、酒造りの道具を展示。清水公昭作の焼物などの美術コレクションもしている。阪神石屋川駅から10分、福壽の酒・心館(10時〜16時、水曜休、無料。841-6977)。酒蔵を利用しての古い道具展示と共に酒器も展示、販売もしている。阪神住吉駅から5分の白鶴酒造資料館(9時〜16時半、月曜休、無料。822-18907)は、酒造りの全ての工程が古い道具類と人形で再現されている。白鶴酒造七代目嘉納鶴翁が設立した白鶴美術館(10時〜

菊正宗酒造記念館



16時半、月曜休、大人600円、大・高400円、中・小200円)は住吉山手にある。中国の古美術が数多く展示され充実している。阪神魚崎駅から7分、菊正宗酒造記念館・参考室(10時〜15時、火曜休、無料。854-1029)は、30年前に建てられた酒蔵。ここは金具類が一切使われずに建てられている。酒造りの映画が上映され、工程がよく分かる。各館とも、申し出るときき酒をさせてもらえる。(酒心館は有料400円)。

また、桜正宗の酒蔵には、江戸時代に丹波から来ていた杜氏が、蔵の壁に樽廻船の絵を落書きしたものが残っている。重要文化財級のものだが、残念ながら今のところ一般公開はしていない。

灘三郷酒蔵の路、各所に神戸市の案内図が建てられ散歩に最適。



Have A Good Time
in
KOBE

ポートアイランド

21世紀の未来都市としてポートアイランドが浮上したのは、博覧会ブームの走りともなったポートピア'81。近代建築の立ち並ぶ夢の島を改めて巡ってみる。

新緑の季節。ポートアイランドにもいたるところに緑が溢れている。ここが人工の島であることに素朴な疑問が生まれてくる。あざやかな木々をぬって斬新なデザインビルがそびえるファッショントウン。ファッショントウンを代表する各社がその個性を競い合っている。

ストリートを散策しながら南へ下るとこちらも個性的な建築の神戸市立青少年科学館。情報の科学、生命の科学など、人と科学の関係を遊び心いっぱいに体験できるスポットだ。人間の言葉を理解するロボットや美しいプラネタリウムは未知の世界への夢を広げてくれる。また「科学の小宇宙」生命の成り立ちを見ていると、人間が最も神秘的な存在であることを確認できる。第1展示室から第6展示室まで大人の知識欲も十分刺激する科学のおもちゃ箱だ。

青少年科学館を西へ。UCCコーヒーマuseumへ続く歩道沿いには小さな美術展が開かれていた。伸びやかに描かれた作品の数々は、オリンピック幼稚園の園児達の作品を背屋芸術情報専門学校の学生が拡大模写したもの。「地球の生きもの、こんにちは」というテーマのこの展示。ポートアイランド内のあちこちに見られる様々なオブジェとは違う、人のぬくもりの感

海底の地形もわかる大地球儀

じられるアートだった。

私たちの生活にかかせないコーヒーをあらゆる角度から掘り下げたUCCコーヒーマuseum。コーヒーが今のスタイルで飲まれるようになるまでの歴史や世界のコーヒー用品。おいしいコーヒーの入れ方からコーヒーマシンまで、あらゆる展示が行われている。館内を一周すると、自然の恵みであるコーヒーマシンが文化の一端を担っていることがよくわかる。

水と緑に溢れた南公園の隣にはおなじみのポートピアランド。中央には帆船が横たわり、ディテールも異国情緒たっぷり神戸らしさを感じさせる。刺激的なBMRやダブルループコースターとのアンバランスがここならではの魅力だ。

博物館や遊園地。海と緑に恵まれたポートアイランド。島全体が大きなミュージアム感覚で楽しめるようになる可能性を秘めている気がする。



観光特集



Have A Good Time
in
KOBE

元町周辺・メリケンパーク

歴史を持つ老舗の多い元町界隈と新しく若者たちのエリアとして展開中のトアウエスト。南京町の国際色と、港町神戸の情緒をトータルすると、欲張りな魅力たっぷりな神戸らしいスペース。

その昔、現在の外国倶楽部の位置に外国人にも親しまれたトアホテルがあったことから、この名がつけられたという。外国人文化のエキゾチックなムードを残したトアロードには、洒落たアダルト向きの老舗が軒を連ねる。

トアロードから路地に入ると、トアウエストと呼ばれる一角があり、神戸のセンスある若者たち御用達の雑貨屋が点在する。店の前に所狭しと並べられた雑貨を見ると、つい足がそちらに向いてしまい、数多い品物を手に取り見ていると時のたつのも忘れてしまう。

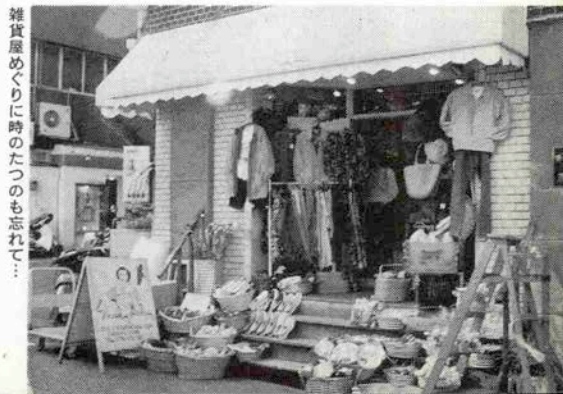
雑貨やシンプルでお洒落な文房具を見つけたときには、年齢を問わずおススメしたいエリア。

お腹が空いたら、イタリア料理、韓国料理、多国籍料理ありの盛りだくさん。

そこから海の方へ行くと、元町、南京町に出る。

“もとぶら”という言葉もあるだけあって、110年の歴史を誇る神戸の代表的なショッピングタウン元町。1丁目から6丁目までの約1キロメートルで種々多様にショッピングが楽しめる。

東西に延びる元町商店街に平行して、南京町がある。こじんまりとしたスペースだが、東西南北4つの門に守られ、北の門には狛犬がおかれている。この魔除けは中



雑貨屋めぐりに時のたつのも忘れて…
国が本家本元のこと。

街の色使いも原色が多く、これからの観光シーズンや日曜日には通人も人で一杯になり、一層賑わい華やかになる。

美味しい中華料理店も多いが、雑貨、ケーキ屋、喫茶店も多く、一種雑多な雰囲気を感じ出している。

今や神戸の一名所となっているのがメリケンパーク界隈。フィッシュダunsホール前の魚のオブジェは、シンボリック。

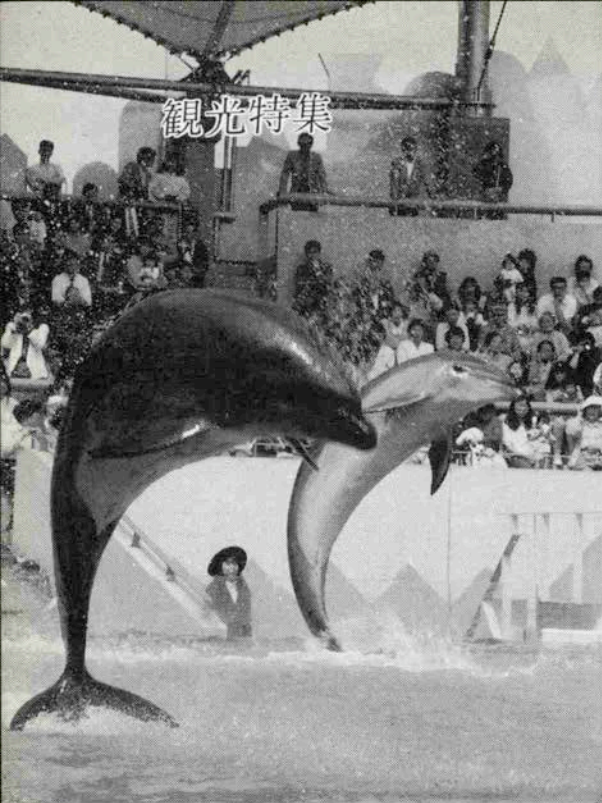
現在は残念ながら公園の一部が工事中だが、天気の良い日には海風に吹かれてそぞろ歩くのも心地良い。

埠頭に腰かけ海を眺めるもよし、海洋博物館で改めて神戸港の歴史を勉強するもよし、これからの季節の散歩に最適のコース。

Have A Good Time
in
KOBE

須磨海岸

東の湘南海岸と並び、西を代表するマリンスポット須磨海岸。
毎夏の海水浴シーズンには100万を超える人々が訪れる神戸を
代表する観光エリアの一つである。



イルカのジャンプで気分は夏色。

夏の前の淡い陽射しが駅ホームにこぼれてる。電車を降りると同時に感じるこののできる独特の匂いが、少しずつではあるが、確実に夏が近づいていることを教えてくれる。

駅の改札（この場合はJR須磨駅をさす）を抜け、42段の階段を降りると、京阪神で唯一のマリンリゾートエリアが視界いっぱいひろがる。

須磨海岸——。関西のウエストコーストと呼ばれる東西約2キロに及ぶ白砂の海岸。海水浴はもちろんのこと、マリンスポーツの中心地としても人気が高い。また一方では、淡路島かよふ千鳥の鳴く声に幾夜寝覚めぬ須磨の関守」と『源氏物語』『須磨』の世界をふ

まえた旅情を表した歌が詠まれるなど、歴史の中にも数多く登場している。

5月の、比較的やさしい光と風が、心地よい解放感を与えてくれる。カラフルなウインドサーフィンのセイルや、夏を待てない若者達を横目に、目的地を目指す。

「イルカ」。その3文字で今日のデートは須磨海浜水族園に決まった。この前来たときはラッコが大人気で、水の中でブカブカ浮いている姿を見て、「ラッコになったい」「そう思った自分が情けなかった。

イルカのライブショーは、「イルカと海のシンフォニー」というタイトルで、4頭のイルカ達がクラシックの名曲にあわせ、華麗な演技を披露してくれた。子供のようにはしゃぐ彼女をみながら「イルカのような男がいなくてよかった」と、胸をなでおろす。

エネルギーを使ったあとは補給しなければならぬ。水族園を出て、来た道を少し戻るとチャイニーズ・レストラン「TAO」（マリン・スマ2F）がある。味だけでなく、おいしく食事をするための無国籍風の空間演出がうれしいお店だ。そして、いつになく機嫌のいい彼女の顔をみながら、この手は他でも使えるな、とバカなことを考えてしまうのである。

（この話は一部フィクションです）

観光特集



六甲山カンツリーハウス

Have A Good Time
in
KOBE

六甲山上

神戸の観光地の中でも、六甲山は王者の貫禄がある。その魅力は、直かに大自然と触れあえるところ、そして、家族でもカップルでも楽しめるところ。さあ、山上でリフレッシュ！

六甲山上へのアクセスは、やはり車を使うのが手っ取り早い。しかし、100を超える登山コースや六甲有馬ロープウェーを利用するのも、違った六甲山を愉しむための方法だ。

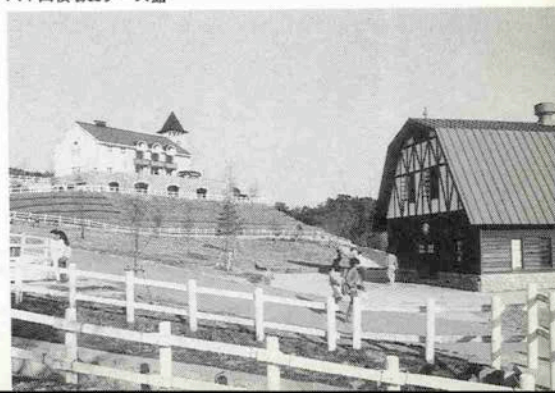
山上に登ると、大人も子供も、“遊び場”には事欠かない。

六甲山カンツリーハウスは、そのものが自然の運動場。広い園内には、二人で息を合せてこぐベダルボート、シーズンオフに楽しむプラスノースキー、バーベキューのできるデイキャンプ場など、身体全体で“山”を愉しめる。楽しいキャラクターの店もオープン。

六甲山フィールドアスレチックは、木々の間を縫ってゴールに向かう。全40のコースが用意されていて、その中から年齢に合ったコースを選べばいい。だから誰でも無理をせずに遊び気分での運動できるし、スコアを記入して行けば自分の体力が分かるというしくみ。

六甲高山植物園は、世界の高山植物や六甲山自生植物が約1500種も栽培されている本格的な高山森物園。高山の岩場を再現したロックガーデン、湿地を好む森物が花を咲かせる湿性植物区、常緑樹・落葉樹の根元に多彩な植物の生息する樹林区の三つに分かれていて、六甲山ならではの散歩道といたった趣きがある。

六甲山牧場&チーズ館



六甲山牧場には、羊、乳牛、うさぎ、山羊、馬が放牧され、子供にも人気が高い。直かに動物たちに触れられるコーナーもある。また隣接する神戸チーズ館では、チーズの製造工程が眺められるのはもちろん、神戸チーズ（カマンベール）が販売されている。2Fのレストランでは、神戸チーズを使ったチーズ料理が味わえる。

その他、ジンギスカン料理の楽しめる六甲山ジンギスカンパレスや、全体がゆっくりと360度回転する回る十国展望台など、見どころはふんだんにある。名物の紫陽花は、間もなくシーズンインする。

将来、新神戸からもロープウェーで山頂へアプローチできるようになる。帰りは少し寄り道をして、ロープウェーで有馬へ下りてみる（20分）というのはいかが？



Have A Good Time
in
KOBE

有馬温泉

阪神間の奥座敷、有馬温泉は日本最古の名湯として全国に知られている。三宮からクルマで40分と、利便性もよく、最近では若い女性客も多い。自然が豊かで、開放的な温泉地である。

有馬温泉の魅力は多彩だ。

滔滔とあふれる湯、心づくしの料理の数々、あるいは綺麗どころをはべらせての宴会——。いずれも有馬ならではの醍醐味が味わえる。さらに有馬で忘れてはならないのは街のたたずまいと自然の豊かさ。『足』で発見する有馬の魅力と言ってもいいだろう。

有馬温泉の玄関口、湯けむり広場は神鉄有馬温泉駅から歩いて三分。有馬ゆかりの豊臣秀吉像（新谷英子作）が出迎えてくれる。ここより『有馬銀座』（三宮―有馬を結ぶバスの発着所がある）を抜けると、湯の街の情緒漂う街並みが続く。松茸昆布、有馬人形筆、有馬籠・竹細工などの有馬みやげの店、シャレた喫茶店やフランス料理店など、趣きある新旧の店が並ぶのもこの界限だ。この辺り一帯は、寺町とも呼ばれているが、その名のように社寺が多い。神社は湯泉神社と有馬天神（境内には泉源がある）。寺院としては、しだれ桜で有名な善福寺、梅の古木がある林溪寺、神戸七福神の内、寿老人を祀る念仏寺をはじめ、極楽寺、温泉寺、妙見寺と、それぞれ宗派を異にする。毎年10月には、これらの社寺を結ぶ『有馬歴史散歩』が行われる。

一方、有馬には周囲の自然をうまくとり入れた公園も多い。

炭酸泉源公園



ロープウェー有馬駅の下にある鼓ヶ滝公園は、緑に囲まれて涼やかな滝が流れ落ち、この季節はとりわけ情趣がある。瑞宝寺跡公園は、毎年11月2〜3両日に豊臣秀吉ゆかりの大茶会が開かれることで知られる紅葉の名所だ。天然の炭酸水が湧き出る炭酸泉源を中心に和風庭園が広がる炭酸泉源公園もぜひ訪れたいところ。

娯楽性という点では、ロープウェー有馬駅近くにあるテニスコート、鼓ヶ滝公園手前のます池などがある。ます池では、釣ったますをその場で料理してくれる。

有馬みやげというと、まず思い浮かぶのが炭酸せんべい。パリッとした淡白な舌ざわりは万人好み料理に舌鼓を打ち、たっぷり湯に浸った翌日は、早い目に起きて街を散策することをお勧めする。

双胴高速クルーザー“くいーんろっこう”でロマンチックタイムを！



—神戸中突堤から淡路島一周など魅力の瀬戸内クルージング—

A コース 淡路島一周

中突堤→淡路島一周→中突堤（約4時間）

B コース 大阪湾周遊

中突堤→大阪湾周遊→中突堤（約2時間）

C コース 神戸港内外周遊

（約1.5時間）

（お問合せ・ご予約） 淡路フェリーボート㈱くいーんろっこう中突堤営業所

TEL 078-360-2460

（当日の気象・海象によりコース・時間変更、
中止などの場合があります）

楽しい不思議世界、コーヒーワールドへ。



コーヒー、その1000年以上もの歴史は、私たちにさまざまな夢とロマンを与えてくれます。カップ1杯のコーヒーから、思いもよらない珠玉のエピソードが一杯つまったUCCコーヒー博物館。読んで驚き、見てときめく……想像力を刺激する展示の数々に、あなたも遊び心いっぱいに出会って下さい。館内に一步踏み込むと、コーヒーに関するあなたの疑問は、一気に解消します。

小学生図鑑方式のやさしい楽しい展示説明に加えて、コンピューターを使ったQ&Aは、一度は試したいもの。遊び感覚で、自然にコーヒーを親しめるように工夫されています。

また、ホールには、ミュージアムショップがあり、オリジナルグッズなど様々な商品が販売されていて、喫茶室<コーヒーロード>では香り高いコーヒーが楽しめます。デートの場に最高です。

UCC コーヒー博物館

神戸市中央区港島中町6丁目6番2号 TEL.(078)302-8880

■入館料/大人210円、小人100円 ■開館時間/AM10:00~PM 5:00
■休館日/月曜日、祝日の翌日 ■交通/ポートライナー南公園駅前

ご家族づれで楽しいフィッシング

須磨
平磯 海づり

神戸市立

公園



Restaurants
KOBE
Wine

レストラン
KOBE WINE

海辺のレストランで、本物の神戸ビーフ、神戸ワインをご賞味下さい。

		須磨海づり公園		平磯海づり公園	
料金の種類		大人 (16歳以上)	小人 (6歳~15歳)	大人 (16歳以上)	小人 (6歳~15歳)
つり料	基本つり料 (4時間)	1,200円	700円	1,000円	600円
	割増つり料 (1時間当り)	300円	170円	250円	150円
入園料		200円	100円	200円	100円
海洋放牧場		1人1回 300円 (貸牛料金含 入園料別)			

■休園日 須磨海づり公園(毎週火曜日)、平磯海づり公園(毎週金曜日)
■平磯海づり公園駐車場 4時間まで500円、1時間毎に追加100円、車庫100円

●お問い合わせ●

■須磨海づり公園 ☎(078) 735-2907

■テレホンサービス ☎(078) 732-4926 (06) 339-4926

■平磯海づり公園・レストラン神戸ワイン ☎(078) 753-3973

贈って喜ばれる

花見屋の浮世あられ

伝統の味、良質のもち米と醤油を使って、一枚一枚焼きあげた手焼きのおかきには、独特の歯ごたえと香ばしさがある。日本茶で過ごすひととき、浮世あられをはじめ、花見屋のオリジナルをお楽しみ下さい。



花見屋

元町店・中央区元町通2-6-6
TEL (078) 331-0873 無休